

家政学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

● 家政学専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

家政学専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1)建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得している。
- (2)ライフスタイルのデザインを提案するために必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ①衣の領域では、服飾文化・造形・素材などに関する知識・技能を身につけ、衣服と生活との関係を理解し、地域の発展に貢献できる提案力と表現力を修得している。
 - ②食の領域では、氾濫する食の情報を精査し、正しい情報を読み取ることができる知識・技能を身につけている。また、愛知の豊かな食材と食文化を知り、地域全体の健康と食育に貢献できる提案力と表現力を修得している。
 - ③住の領域では、多様な生活スタイル、生活のリズムを把握し、快適な空間、やすらぎの生活を演出・計画できる提案力と表現力を修得している。
- (3)自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

● 管理栄養士専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

管理栄養士専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、管理栄養士の資格を生かしてチーム医療、健康増進・疾病予防、食育・栄養指導、健康をテーマにした食品の研究・開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1)建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得している。
- (2)管理栄養士に必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ①管理栄養士に必要な専門能力の基本となる知識・技能を身につけている(社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康にかかわる知識・技能を修得している)。
 - ②管理栄養士に必要なとされる専門分野の知識・技能を身につけている(基礎及び応用栄養、栄養教育、臨床栄養、公衆栄養、給食経営管理にかかわる知識・技能を修得している)。
 - ③管理栄養士に必要な健康の維持・増進、疾病の予防・治療において栄養管理及び栄養指導を行うことができる知識・技能を修得している。
 - ④管理栄養士に必要な食に関する問題を解決する課題解決案を提案できる思考力、判断力、表現力を身につけている。
 - ⑤管理栄養士に必要な専門的行動能力(コンピテンシー)を身につけ、人々の豊かな食生活と健康を創造することができる。
 - ⑥管理栄養士に必要な職務に対する責任感及びチーム医療、患者とのコミュニケーションを円滑に進める

能力を身につけている。管理栄養士の態度や考え方を理解している。

- (3) 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

● こどもの生活専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

こどもの生活専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1) 建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得している。
- (2) 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士に必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ① 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士に必要な専門的知識・技能及び実践的指導力と創造性を身につけ、子どもの豊かな心と想像力を養うことができる。
 - ② 小学校教諭としての専門的知識・技能を持ち合わせ、それらを小学校で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
 - ③ 幼稚園教諭としての専門的知識・技能を合わせ持ち、それらを幼稚園で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
 - ④ 保育士としての専門的知識・技能を合わせ持ち、それらを保育所で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
- (3) 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。